



令和8年2月12日

## SFTSってどんな病気？ ～ 第94回 宮崎大学イブニングセミナーを開催します ～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、ダニが媒介する感染症「SFTS(重症熱性血小板減少症候群)」について、分かりやすく紹介するイブニングセミナー「SFTSってどんな病気?～医師と獣医師が語る“健康”のつながり～」を開催しますので、御案内させていただきます。

本イブニングセミナーは、本学に在籍する研究者が、各分野での研究内容やその研究成果等を相互に理解し、協働した教育・研究等を実施する契機とするとともに、地域の皆様と本学の知的資源を共有し、地域社会との連携を深めることを目的に実施するもので、2004年3月から継続して開催しています。

SFTSは、人だけでなくネコやイヌなど、さまざまな動物にも感染する「人獣共通感染症」で、宮崎県は全国でもSFTSの報告数が最も多い地域です。そのため、医師と獣医師がそれぞれの専門分野から、重症化の特徴や予防などを分かりやすく解説し、人・動物・地球の健康を守る「ワンヘルス」の視点で、その重要性を考えます。

当日は、ひなたキャンパスでの対面開催に加えて、Microsoft Teams ウェビナーにて同時配信を行い、どなたでも無料で参加いただけます。

つきましては、貴社の「インフォメーションコーナー・お知らせコーナー」等に掲載していただくとともに、ぜひ取材していただきますようお願いいたします。

### 記

- 日 時：令和8年3月5日(木)17時30分～19時
- 会 場：宮崎大学錦本町ひなたキャンパス 講堂1・2  
(Microsoft Teams ウェビナーで同時配信いたします)
- 対 象：教職員、学生、一般市民
- 取 材 対 応：報道関係者の視聴・取材も歓迎します
- 参 加 費：無料
- そ の 他：詳細は別紙をご覧ください

お問合せ先・お申込み先

研究推進課総務係

e-mail：ken-somu@of.miyazaki-u.ac.jp

TEL：0985-58-2882

発信元

企画総務部総務広報課

e-mail：kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

TEL：0985-58-7114



# 第94回宮崎大学イブニングセミナー

## SFTSってどんな病気？

### ～医師と獣医師が語る“健康”のつながり～

日 時：2026年3月5日（木） 17:30-19:00

場 所：宮崎大学錦本町ひなたキャンパス講堂1・2

※会場には駐車場がありません。近隣の駐車場をご利用ください。

（Microsoft Teamsで同時配信します）

定 員：制限は設けておりません。

申込方法：事前登録は不要です。

※Microsoft Teamsで視聴される方は登録が必要となります。



（QRコードをクリックするか、コードを読み取ってお申込みください。）

※上記でのお申込みが困難な場合には、メールにて「学内・外者の別、学内者の場合は教職員・学生の別、所属、氏名」をお知らせ下さい。

宮崎大学研究推進課総務係 E-Mail：ken-somu@of.miyazaki-u.ac.jp

#### 次 第：

《司会》丸山 治彦（医学獣医学総合研究科 研究科長）

#### 開会挨拶

17:30-17:35 鮫島 浩（学長）

#### 発 表

17:35-17:55 SFTSってどんな病気？

宮崎 泰可（医学部内科学講座 教授）

17:55-18:20 宮崎県におけるSFTSと当講座の取り組み

川口 剛（医学部内科学講座 助教）

18:20-18:45 動物のSFTS、動物からのSFTS

岡林 環樹（産業動物防疫リサーチセンター 教授）

18:45-18:55 総合討論（Q&A）

#### 閉会挨拶

18:55-19:00 片岡 寛章（理事・副学長）



# SFTSってどんな病気？

## ～医師と獣医師が語る“健康”のつながり～

SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は、人と動物の両方に関わる新しい感染症です。本講演では、医師と獣医師がそれぞれの立場からSFTSの特徴や予防、そして人・動物・地球の健康を守る“つながり”についてわかりやすくお話しします

### 1. SFTSってどんな病気？

宮崎 泰可（医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 教授）

SFTSとは、Severe Fever with Thrombocytopenia Syndromeの略語で、日本語では「重症熱性血小板減少症候群」と呼ばれます。ダニを介して感染するウイルス感染症で、病名の通り、発熱と血小板減少がみられます。重症例は、意識障害や出血症状を認め、ときに致命的な経過をとります。治療には抗ウイルス薬であるファビピラビル（商品名：アビガン）の経口投与を行います。現時点でワクチンはありません。本セミナーでは、SFTSとはどのような病気か、どのような人がかかりやすいのか、現在わかっている予防策や地域としての備えについて考えてみたいと思います。

### 2. 宮崎県におけるSFTSと当講座の取り組み

川口 剛（医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 助教）

宮崎県は国内最多のSFTS報告地域であり、2025年7月末までに119例（全国1,185例）が届出されています。当講座は県内の基幹病院と連携し、これまでに84症例のデータを収集・解析してきました。本セミナーでは、これらの研究から得られた知見をもとに、SFTSやその重症化の特徴についてわかりやすく解説します。あわせて、急性期に合併しうる侵襲性肺真菌症（カビによる肺炎）や、急性期血清を用いたサイトカイン解析など、最新の研究成果も紹介します。

### 3. 動物のSFTS、動物からのSFTS

岡林 環樹（産業動物防疫リサーチセンター / 農学部 獣医学科 教授）

SFTSは人だけでなくネコやイヌなどの伴侶動物をはじめとするさまざまな動物にも感染する人獣共通感染症です。特にネコでは重症化しやすく、高い致死率が報告されています。また感染動物の血液や体液との直接的な接触によって、人がSFTSを発症する事例も国内外で報告されており、「動物からのSFTS」も問題となっています。本セミナーでは、動物におけるSFTSの臨床症状や診断、発生状況を概説するとともに、動物から人への感染事例の実態について解説します。さらに、獣医療現場や一般家庭において実践可能な感染予防対策についても紹介し、人と動物が安全に共存するための“ワンヘルス”の視点からSFTS対策の重要性を考えます。